

令和2年度第1回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和2年5月21(木) 午前10時00分～午前11時00分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員(5名)

伊 藤 由美子(委員長)

藤 田 素 弘(副委員長)

赤 木 邦 男

佐 藤 久 善

小 寺 直 美

事務局(6名)

満 仲 弘(総務部 契約監理課 課長)

種 村 悟(総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長)

蒔 田 宏 之(総務部 契約監理課 課長補佐兼契約調達係長)

水 谷 正 紀(総務部 契約監理課 契約調達係)

森 浩 木(上下水道部 次長兼企画総務課 課長)

亀 永 ま こ(上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長)

工事担当課(7名)

佐 藤 良 治(都市整備部 次長兼土木課 課長)

橘 田 竜 一(都市整備部 土木課 建設係)

二 木 健(総務部 財政課 主幹)

田 中 昌 紀(総務部 財政課 課長補佐兼公共施設マネジメント係長)

寛 直 樹(産業振興部 農林水産課 課長)

伊 藤 康 洋(産業振興部 農林水産課 主幹)

杉 本 高 康(産業振興部 農林水産課 農業基盤整備係長)

事 項

1 開 会

【事務局】

本日は、ご多用の中、ご出席賜りまことにありがとうございます。

定刻より少し早いですが傍聴者なしとさせていただいておりますし、皆様お集りですので、令和2年度第1回入札監視委員会を開催させていただきます。

最初に総務部長からご挨拶申し上げます。

【事務局】

おはようございます。総務部長の松岡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は皆様ご多用の中、また新型コロナウイルス感染症の影響で外出いたします環境が厳しい中、令和2年度第1回桑名市入札監視委員会にご出席いただきましてまことにありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響で本市の工事発注でありますとか工事の進捗が大きく滞っている状況ではないという事をご報告させていただきますとともに、日々変わっております環境下で今後の動向や推移等をしっかりと見守っていくべきだと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、当委員会におかれましては昨年通算7回目となります意見書によりご提言をいただきました。

過去のご提言を踏まえまして、随時、対応、改善等を行ってきた所でございます。今後さらに適正な入札及び契約の手続きを行っていくとともに、その内容の透明性をより一層高め、公平で公正な入札及び競争性を確保するとともに、工事の品質確保にも努めてまいりたいと考えております。

本日は、議事といたしまして入札制度の改正や入札及び契約手続きの運用状況について、またご抽出いただきました案件3件それぞれについてご審議いただくという事でございます。

今後も、本市の地域特性と社会情勢をしっかりと勘案しながら、より良い入札制度の構築を目指してまいりたいと考えておりますので委員各位のご指導ご鞭撻を引き続きよろしくお願い申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の議題につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

新型コロナウイルス感染症という予想しなかった事態が起こり、それぞれの立場で対処をされ大変な事がいろいろあったと思います。桑名市におかれまして工事の進捗に影響がないか懸念しておりましたところ、先程総務部長から特段の遅れなどは発生していないとお聞きしまして良かったなと思っております。

新型コロナウイルス感染症については、今後どのような影響が出てくるか分かりませんので、市も対策等到大変だとは思いますが、その都度、状況を把握しながら対応していただければと思います。

さて、入札制度において一番大切なのは公平・公正というところでありまして、不正が発生しないような制度であるとともに、工事発注の中から言いますと、市内業者の育成でありますとか、どのような業者に入札に参加していただくかなど様々なことが出てくると思います。毎回申し上げますように、入札制度において100%のものというのはないので、その都度考えられる良い方法というのを試行錯誤でしながら進めていくという事になろうかと思えますし、この

入札監視がそういう事すべてに関わるというものではなく、その中の一助になりお役に立てればと思っておりますので、しっかり審議していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【事務局】

委員長ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行をしていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

先程もありましたように、本日の会議は一般公開となっておりますが、新型コロナウイルス感染症への対応といたしまして傍聴なしとさせていただきましたので、ご了承願います。

事務局にお尋ねいたします。このことで傍聴を希望される方からのお問い合わせ等はありませんでしたでしょうか。

【事務局】

事務局の満仲です。今のところ外部からのお問い合わせや傍聴に関して要望等ございません。

2 議 事

(1) 令和2年度入札制度改正について

【委員長】

それでは早速審議に入りたいと思います。

議事(1)「令和2年度入札制度改正について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局の蒔田です。着座にて説明させていただきます。

それでは、(1) 令和2年度入札制度改正について説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

令和2年4月1日から、建設工事及びコンサルタント業務等におきまして、過度な低入札価格による、労働条件の悪化、下請業者へのしわ寄せ、工事品質の低下、工事施工の安全対策の不徹底などを防止するため、最低制限価格の基準となる価格等の範囲と算定式の改正を行いました。

まず、範囲ですが、国の基準に倣い、予定価格の70%から90%までを予定価格の75%以上と改正しました。

これによりまして、これまで算出の結果が90%を超えた建設工事等につきましては、90%としましたが、90%を超えましても、算定式の算出結果がそのまま反映されることとなりました。

算定式につきましては、三重県の算定式に倣い、それぞれ資料の表とおり改正いたしました。

これによりまして、設計内容にもよりますが、建設工事につきましては1%から3%程度上昇し、コンサルタント業務につきましては2%程度上昇しております。

机の上に算出例の資料を配布しておりますのでご覧ください。

一番上の表ですが、表のとおり 3 月 31 日までは予定価格を 1,000 万円としたところ、最低制限価格を算出いたしますと 915 万円となり、70%から 90%の範囲がございますことから、算出結果は 900 万円となっております。それが 4 月 1 日からは算定式により計算いたしますと 930 万円となり、上限が撤廃していることから算出結果どおり 930 万円となるということになります。

一番下の表の測量・コンサルタント業務につきましても 80%が平均的な最低制限価格の算出基準価格でございましたので、範囲の上限を撤廃しましても率を改正したことにより右の表のとおり 4 月 1 日からは 2 %程度上昇することとなっております。

資料に戻っていただきまして、2 ページの中段をご覧ください。

最低制限価格の基準となる価格の範囲と算定式の改正にあわせまして、低入札価格調査制度における調査基準価格及び失格基準価格の範囲と算定式の改正も行いました。

まず調査基準価格ですが、最低制限価格の基準となる価格と同様の範囲と算定式を使用していますことから、こちらも国と三重県に倣い最低制限価格の基準価格と同様の改正を行いました。

次に 3 ページの中段をご覧ください。

低入札価格調査制度につきましては、調査基準価格の改正に伴いまして、失格基準価格の改正も行いました。こちらも国と三重県に倣い改正いたしました。

恐れ入りますが、もう一度算出例の資料をご覧ください。

真ん中の表になりますが、低入札価格の場合は調査基準価格が従来の最低制限価格と同率になりますのでそちらと同じような形になります。

失格基準価格につきましても、これまででいたい 69%で算出されましたが、範囲がございましたことから 70%で 700 万円となりました。こちらをかなり改正いたしまして右の表にありますとおり、失格基準価格につきましては率が 20%くらい上がるようになりまして、失格基準価格と調査基準価格の間がかなり狭くなったことになります。

再び資料に戻っていただきまして、4 ページをご覧ください。

失格基準価格の範囲と算定式の改正に伴いまして、見積内訳書の判断基準の改正も行いました。

変更内容は表のとおりでございます。

こちらは三重県に倣い改正いたしました。

説明は以上でございます。よろしくご審議賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は必ずマイクを利用していただきますようお願いいたします。

それでは、私の方から、桑名市がこの度このように変えられたということですがあくまで桑名市のことなので桑名市が考えればよろしい訳なのですが、他市町村はどのような状況だったのでしょうか。簡単にご説明お願いいたします。

【事務局】

事務局の蒔田でございます。三重県内の他市町村につきましては昨年度から算定式は三重県に習いまして改正しておりまして桑名市は遅れて今年度からという形になっております。ただ範囲につきましては三重県内では70%から92%としているところ桑名市は75%以上と少し先に改正いたしております。

【委員長】

ありがとうございました。他に何かご質問ご意見いかがでしょうか。

【委員】

この改正によりましてどのような効果を期待されていますか。

【事務局】

事務局の蒔田でございます。低入札価格で入札されますと労働条件等の労働者への負担が少し増えてきている状況があるとお聞きすると、若年層の入職者数と定着率も建設業界はあまり良くないと思いますので、その部分について低入札価格を見直したことによって、適正な労働環境の確保のために使っていただいて、適正な労働環境の確保と建設業界における若年層の定着につながればと思っております。

【委員長】

今の意見からですが、このように最低制限価格を上げてくることで事業者さんの方に余裕ができ、それが労働者さんに無理のないように反映されていけば良いということですが、そういう統計的なデータはこれまでにあったのでしょうか。そして今度これを変えていくことによって改善効果が出ているか出ていないかということが何かわかるものはありますか。

【事務局】

契約監理課長の満仲でございます。

先程の委員長からのご質問でございますが、国の基準や法律、ガイドラインなどで労働者の待遇改善等々については示されているところでございます。こちらといたしましても、労働者へのしわ寄せがないような形にさせていただいて、平素から現地調査や検査の時にこれから気を付けて行く必要があると思っておりますし、他市町の例を参考にしながら研究を続けてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。他にご質問、ご意見はございませんか。

無いようですので、次に「議事（２）入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から報告をお願いいたします。

（２）入札及び契約手続きの運用状況について

【事務局】

引き続き、事務局の蒔田でございます。

それでは、（２）入札及び契約手続きの運用状況について説明いたします。

資料の５ページをご覧ください。

それでは①指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります令和２年１

月から3月の3ヶ月の間に指名停止を講じた件数は1件となっております。

三重県が講じた指名停止に合わせまして、桑名市でも同等の措置を講じたものでございます。

次に②の談合情報でございますが、対象期間において寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの報告についてご質問、ご意見はございませんか。

(3) 抽出事業の審議について

それでは、続きまして、議事(3)「抽出事業の審議について」の項目に移ります。

審議に先立ちまして抽出案件3件について説明を得るため入札監視委員会条例第6条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔全委員が了承する。〕

それでは、関係者の方々の出席を求めます。

〔関係職員の入室〕

【委員長】

審議にあたり今回の3件の抽出理由について藤田委員から説明をお願いいたします。

【委員】

今回案件3件抽出させていただきましたけれど、上から1つ目は応札業者が多いのと契約金額が大きい。2つ目は逆に応札業者が少ないが契約金額が大きい。3つ目は随意契約で関心があつたものを選ばせていただきました。

【委員長】

ありがとうございました。

抽出事業 1 市道上之輪嘉例川線道路改良工事

【委員長】

それでは第1案件「市道上之輪嘉例川線道路改良工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【土木課】

おはようございます。発注担当課の土木課の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。
座ってご説明させていただきます。

工事概要書をご覧ください。工事名は「市道上之輪嘉例川線道路改良工事」でございます。
予算額 1,002 万 3,000 円、設計額 778 万 3,600 円でございます。工期につきましては令和 2 年
1 月 21 日から同年 3 月 13 まででございました。位置図をご覧ください。同箇所は大山田川左
岸に位置する市道上之輪嘉例川線でございます。特に大山田団地、陽だまりの丘等で市街化が
進みまして、急激に交通量が増え、舗装の損傷が著しいということから、順次、修復、改良を
行っている事業でございます。再度工事概要書にお戻りください。工事概要につきましては、
施工延長 120m、その施工延長内の舗装の取替に伴いまして、舗装版の切断 374m、切断した舗
装、既設舗装の破碎等を行うのに 828 m²、取り除きました舗装に対して不陸整正かつ表層、基
層ということで、現行の舗装版を改良し交通量が増加することに対して改良を加えたという内
容でございます。最終的に舗装した部分について区画線工ということで一式計上させていただ
いております。平面図並びに標準断面図をご覧ください。部分的に市道の大桑国道の坂の下か
らさらに西側に上った部分が施工箇所でございます。かつ標準断面図において既設舗装面、新
設舗装ということで改良に対する舗装断面の新旧を表してございます。簡単ではございますが、
私からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。

資料の 10 ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札で、月 2 回土日完全週休 2 日制試行工事対
象の案件でございます。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、舗装工事業の許可業者であること、所在地は、市内
までとし、経審点数は 450 点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上
であること、同種工事施工実績は、平成 16 年度以降、官公庁が発注した案件で、舗装工事
の施工実績を有すること、技術者要件として、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、
以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、11 ページをご覧ください。

令和 2 年 1 月 8 日に入札を行いましたところ、8 者から応札があり、開札の結果、8 者
全てが最低制限価格以上、予定価格以内で応札し、その 8 者が同額のため、くじにより、有
限会社ナカムラ建設を落札候補者としました。

その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜
き 624 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんでし
ょうか。

【委員】

教えていただきたいのですが、河川の堤防道路になるのでしょうか、工事費が少し高いということがありますか、また、既設と新設で路盤面が違うのですか、どう違って、コスト的にどうで、どのような効果がありますか。

【土木課】

土木課の佐藤でございます。まず、河川堤防を利用した市道ということで、特に道路に関して一般的な堤防以外の道路と比較して特に変わりはありません。また、舗装の改良につきまして、通常、表層といいましてアスファルトの下に路盤、要は碎石等で敷きならした路盤が直接あるわけですが、冒頭にお話しいたしましたように交通量がかなり増えてきている、かつ、多度方面で工場立地が進んできたこともあり、一般車両以外の大型車両についても増えてきているという状況から、アスファルトの4cmの下に基層と申しまして、さらにアスファルトを敷いたうえでその下については路盤ということで2層をもって対応するという改良の内容でございます。以上でございます。

【委員】

それによって交通量が増えた分に対する寿命は延びるということですね。この工事は順番にやっているというお話でしたが、そうすると順番で発注して、入札の結果、大概くじ引きになるのではないかと思います、くじ引きの結果はランダムに当たるのか同じ一者にだけ集中してしまうことがあるのか。どんな雰囲気でしょうか。

【事務局】

これは何とも言えませんで、業者が入力した任意の3桁の番号と応札の順番等によりまして計算をしてくじを引いておりますので、たまたま同一業者が受注することはありますが、基本的にはばらけると思われます。

【委員】

順番というのはどういうものですか。

【事務局】

応札者が応札をした日時が電子入札上で記録されますので、その順番です。

【委員】

早い者が少し有利になるということですか。

【事務局】

いえそういうことではございません。任意の数字と順番等、それらを全部足した数字を参加業者数で割り、その余りで落札候補者を決定しておりますので、そのようなことはございません。

【委員長】

大丈夫でしょうか。追加の質問よろしいでしょうか。

【委員】

このような工事ですと結構似たような業者が集まってくるかも知れないですが、くじ引きによってずっと同一業者が受注するということは、くじ引きの性格上はないのでしょうか、余り重なるようであればチェックした方が良いのかなという気持ちがあったのでお聞きしました。

【委員長】

ありがとうございました。他にご質問、ご意見等いかがでしょうか。

この案件について月 2 回土日完全週休二日制試行工事となっておりますが、これについての説明はいかがでしょう。

【事務局】

事務局の蒔田でございます。今回の月 2 回土日完全週休二日制試行工事につきましては、桑名市の方で対象となる工事を選択いたしまして、出来そうな工事について月 2 回完全週休二日制施行工事ということで発注をさせていただきまして、その時点で希望を取る訳ではなく応札した結果落札となった業者が希望すれば対象工事として工事をしていただいて、達成した場合には経費の補正をかけ変更契約で金額を調整するということになります。

今回の工事につきましては受注者から希望はございませんでしたので、対象工事でしたが実施はされませんでした。

【委員長】

ありがとうございます。月 2 回土日完全週休二日制試行工事という制度を作られたというのとは何かそれによる効果を意図するところがあった話でしょうか。

【土木課】

発注課の土木課から説明させていただきます。中央の方から働き方改革ということで、特に建設業が進んでいないということから、国土交通省を通じて三重県下においても週休二日制について全県的に試行するというので、本市についても試行した次第でございます。以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。他にご質問、ご意見等いかがでしょうか。ないようでしたらこの案件につきましてはこの案件につきましては問題がないということで認めさせていただきます。

抽出事案 2 （仮称）星見ヶ丘防災拠点施設建設（倉庫棟建設）工事

【委員長】

それでは次に第 2 案件「（仮称）星見ヶ丘防災拠点施設建設（倉庫棟建設）工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【財政課】

おはようございます。財政課の二木と申します。よろしくお願いいたします。座って失礼いたします。それでは工事概要の説明をさせていただきます。

工事名、（仮称）星見ヶ丘防災拠点施設建設（倉庫棟建設）工事、予算額 9,855 万円、設計額 9,459 万 6,700 円、契約額 8,512 万 9,000 円、工期は令和 2 年 2 月 25 日から令和 2 年 9 月 30 日までとなっております。工事場所につきましては桑名市星見ヶ丘四丁目 1001 番地地内、工事概要といたしましては防災備蓄倉庫、構造は鉄骨造平屋建て、床面積は 436.49

m²となっております。簡単でございますが工事概要は以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。

資料の 14 ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、建築工事業の許可業者であること、所在地は、県内までとし、経審点数は市内が 630 点以上、準市内が 800 点以上、県内が 900 点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は、平成 16 年度以降、官公庁が発注した案件で、建築一式工事の施工実績を有すること、技術者要件として、現場代理人及び監理技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、15 ページをご覧ください。

令和 2 年 2 月 12 日に入札を行いましたところ、1 者から応札があり、開札の結果、株式会社伊藤工務店を落札候補者としました。

その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き 7,739 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問、ご意見等いかがでしょうか。

【委員】

一者しか応札していない理由をお聞きしたいということと、防災拠点施設ですが、倉庫なので相場がわからないのですが、少し高めなのでしょうか。災害時に壊れてはいけないということで高めの設計になっているとかあればお聞かせください。

【財政課】

一点目の応札者が少ないということについては、あくまでも想定でしかないのですが、本工事については、予定価格によって特定建設業の許可が必要な入札案件となっておりますので、そのため技術者の配置要件で監理技術者の配置を求めているところがネックになったところがあったり、今年度は東京オリンピックが開催される予定があった中で、全体的に建設業のウエイトがオリンピック事業に向いていたのではないかとというところで応札者が少なかったのではないかと思います。

発注金額が高額であるのではないかとのご指摘については、こちらの設計につきましては積算等に関しては官公庁の積算基準であったり、専門図書等の見積を基に適正に積算を行って設計金額を算出しております。過去の事例等を見ても特に m²単価等が特段高いというようなことはないということは把握しておりますので、こちらが目立って高いとかということはないと考えております。以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。いかがでしょうか。

【委員】

通常であればもう数者応札してきてもいいのかなという予想はあったという感じですか。

【財政課】

入札要件の中に県内業者も参加可能な案件ですので、実際、特定建設業の許可のある業者は、市内業者だと6者、県内業者だと、件数までは把握しておりませんが多数がある中で、工法的にも特に変わった工法ではなく一般的な在来工法ですので応札業者は多いのかなと考えておったところではあるのですが、先に理由を述べさせていただき、いろいろな話を聞いていると、オリンピックの方にウエイトが傾いているというのは耳に挟んでいたところでございまして、その関係かなと考えております。以上です。

【委員長】

いかがでしょうか。

【委員】

施設の平面図がありませんので、どういうものが建てられるかよく分かりませんが、建設予定地であります星見ヶ丘四丁目の場所の造成をしたら、地盤を改良しないといけなとか、先程申し上げられましたように防災拠点なので丈夫なものでなければ困るということもあろうかと思いますが、その辺がよく分からないので、400 m²ですから 20m×20m くらいの倉庫を建てるのに1億円近いお金が要るのかなと思いますが、中の設備等も含めた話でしょう。

【財政課】

まず建物につきましては倉庫ということで、目的といたしましては、応援物資などの仕分けをしたり、備蓄するということで所管課から話は聞いておりますけれども、その物資をかなり高いラックに備え付けるような形で計画がされていますけれども、その部分で通常の倉庫という部分でいきますとかなり階高が高いような形でラックがいくつも並ぶような形の建物になっておりますので、実際には通常の平屋と言いつつも高めの階高になっております。敷地全体につきましては配置図に示してあります斜線部分、大半はアスファルト舗装で最終的には敷地の形態をとるのですが、その一部につきましては、震災時におきまして仮設住宅建設の本部の設置を想定して場所の確保をしておりますので、倉庫と管理棟にて防災拠点施設として計画しております。

構造につきましても、建築基準法等の申請の中で構造の検討がなされて大震災の時でも使用できるような構造の検討が行われておりますので構造についても万全であることは確認されております。以上です。

【委員長】

ありがとうございました。いかがでしょうか。他に質問、ご意見いかがでしょうか。

では特に問題もございませんのでこの案件について問題なしということにしてよろしいでしょうか。この案件については問題なし。

抽出事案 3 令和元年9月4日～9月5日の豪雨災害による力尾地内法面災害復旧工事

【委員長】

それでは次に第3案件「令和元年9月4日～9月5日の豪雨災害による力尾地内法面災害復旧工事」について発注担当課から工事概要と随意契約理由の説明をしていただき、その後事務局から見積経過について説明をお願いいたします。

【農林水産課】

農林水産課長の筈です。詳しくは担当係長からご説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

【農林水産課】

農林水産課の杉本です。よろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

工事名、令和元年9月4日～9月5日の豪雨災害による力尾地内法面災害復旧工事、工事場所、桑名市多度町力尾地内、予算額700万円、設計額526万3,500円、工期は、契約日から65日間、工事概要は、施工延長220m、法面工514㎡、土工566㎡、伐木処理工260㎡、処分量14t、道路工は、主にアスファルト舗装工61㎡、管水路工1.42mでございます。

続きまして、随意契約理由ですが、令和2年2月19日に入札を行ったところ応札者がなく不調となりました。災害復旧工事であることとこの不調の結果から、地方自治法第167条の2第1項第8号の規定による随意契約とする方針とさせていただきました。工事場所に近い地元業者数社に相談をしましたが、年度末であり業者にとっても繁忙期ということで相手方を選定することができず、令和2年3月2日に、災害協定を締結しております三重県建設業協会桑名支部に依頼し、現在、水谷建設株式会社と契約を締結し、現在施工中でございます。以上でございます。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果でございますが、21ページをご覧ください。

令和2年3月27日に見積合わせを行い、指名業者の水谷建設株式会社から見積もりを徴しましたところ、1回目・2回目ともに予定価格を超過しておりましたので、協議を行い、税抜きの470万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等いかがでしょうか。

【委員】

まず、令和元年9月4日が災害で、令和2年2月に最初の入札を執行されたということですが、災害から発注までにやはり結構時間がかかるのですか。もう少し早く発注することは難しいのですか。また、この案件は、地元業者に相談しても手を挙げてくれなくて、協会に依頼したということですが、このケースも随意契約になるんですね。随意契約という関連のある同じような仕事をずっと依頼するというようなイメージなのですが、このケースはどういう理由で随意契約になるのかを教えてください。

【農林水産課】

農林水産課主幹の伊藤でございます。

まず、時間を要しているという点についてでございますが、9月4日から5日の豪雨で、

かなりの範囲が被災し、5日と6日は現地の緊急対応ということで、河川も隣接しておりますので断面の応急処置工をさせていただいたところでございます。

災害ということで、国の支援等も検討をしなければならないということで、国、県へ災害の補助事業になるかならないかという査定も受けながらの中で、結果的にはその事業に乗れなかったというところもございます。そういった整理をしながらの中で進めまして、2月の入札ということになっております。以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

【事務局】

随意契約の業者につきましては一般的に今回の発注公告の条件を満たしてくる業者であればどちらでも可能ということになります。今回につきましては災害復旧工事であることと、今回の災害につきましては広範囲での大規模な災害でしたことから、この災害によりましていろんな業者が受注もしており、技術者も従事していますことから、技術者にも余裕があるということで桑名市では一番大きな業者に依頼したということになったかと思っております。

【委員長】

ありがとうございました。いかがでしょうか。

【委員】

こういうケースも随意契約というのですね。

【事務局】

はい、そうです。

【委員長】

ありがとうございました。いかがでしょうか。

災害ということで、復旧をとにかく急がなければいけないというある意味緊急事態といえると思います。その中で地元業者もいろいろ仕事を抱えている中で、これはどんな仕事をしている人にも言えると思うのですが、抱えている仕事が多くて手一杯というのではなく、緊急なことがあれば協力をして行こう、スケジュールを考慮しながら無理して緊急対応をしていく、市の要請に積極的に協力していただくためには、やはり業者のモチベーションを高めるような入札制度になっていないといけないと思います。結局くじ引きだしと思われてしまう。確かにくじ引きであれば公平性は保たれるといえるのですが、建設業に入られる労働者も少なくなっている中で、入札制度については、今何が正解かわかりませんが、いろいろなことを考えていかなければいけないと思いました。あくまでも個人的な意見でございます。

これについて他にご意見、ご質問いかがでしょうか。

ないようでしたらこの案件についても問題はないということでよろしいでしょうか。

ではこの案件については問題なしです。

以上をもちまして抽出事案の審議を終了いたします。次回の審議案件の抽出は順番により小寺委員となります。

(4) その他

【委員長】

それでは(4)「その他」ですが委員の皆様何かございますか。

【委員】

的が外れているかもしれませんが、緊急時の対応というのはそれで業者が見つからないというのが随意というのは腑に落ちないところがある、ピンとこないところがあるのですが、全国的なことなのかもしれませんが業者に協力を願うみたいなところで、普段の随意契約とは違う気がするのですが。

【事務局】

今回の案件につきましては一度入札にかけて応札者がなかったという理由と、いつもとは随意契約理由が異なっています。また、災害ということで緊急も要しますこと、この2つの理由によりまして随意契約の形を取らせていただくことになったということになります。少しレアなケースにはなります。以上です。

【委員長】

レアなケースとおっしゃいましたが、これまでもこのようなことはあったのでしょうか。災害復旧で入札をかけても応札業者がなくてというようなケースです。

【事務局】

ございます。

【委員長】

できるだけ頻繁にそのようなことが起こらないようになって欲しいなと思います。

他にはいかがでしょう。よろしいでしょうか。では事務局の方から。

【事務局】

特にございません。

3 閉 会

【委員長】

ありがとうございました。それでは令和2年度第1回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。なお、本日の審議概要は後日、事務局でまとめさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。